

本県農業・農村の展望

項目	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	直近年	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)
総農家数(戸)	64,337	55,446	46,219(2020年)	41,000	36,000
うち販売農家数(戸)	47,833	39,810	32,008	30,000	26,000
農業経営体数(経営体)	48,463	40,473	32,726(2020年)	30,000	30,000
うち3千万円以上(経営体)	939	925	1,117	1,600	2,000
うち30ha以上(経営体)	122	165	249	600	900
農業法人数(法人)	359	457	611(2019年)	800	1,000
耕地面積(ha)	127,200	124,500	122,000(2020年)	120,000	118,500
耕地利用率(%)	92.2	94.9	98.0(2019年)	99.0	100
農業産出額(億円)	2,552	2,723	2,871(2018年)	3,200	3,350
米麦等	697	576	764	716	693
園芸	955	1,039	963	1,230	1,300
畜産	853	1,055	1,095	1,230	1,320

(出典)総農家数・販売農家数・農業経営体数・農林業センサス(2020年は概数値)、耕地面積・耕地利用率・農業産出額:農林水産省調べ、農業法人数:県農政部調べ

【目指す本県農業の構造】

農業者数が引き続き減少すると見込まれる中であっても、農業を成長産業として持続的に発展させていくため、担い手の確保・育成と農地の集積・集約化やスマート農業の推進などにより、担い手が農地の8割を担う力強い農業構造を確立していきます。

